

フライ・ミー・トゥ・ザ・ムーン (2024)

FLY ME TO THE MOON

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 132分

初公開日 2024/07/19

公開情報 ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

映倫 G

【キャッチコピー】

歩いたのは月の上？

それとも――？

人類初の月面着陸

世界が目撃したのは――

リアルか フェイクか

【解説】

人類初の月面着陸計画の裏で驚きの極秘プロジェクトが進行していた、との奇想天外な物語を「ブラック・ウィドウ」のスカールレット・ヨハンソンと「マジック・マイク」のチャニング・テイタム主演で描いたコメディ・ドラマ。共演にウディ・ハレルソン。監督は「Love, Саймон 17歳の告白」のグレッグ・バーランティ。

ケネディ大統領の無謀とも思える宣言によって始まった人類初の月面着陸を目指す前人未到のプロジェクト“アポロ計画”。しかし大統領の宣言から8年、プロジェクトは失敗続きで国民の関心も薄れていた。そこで政府関係者のモーは、PRマーケティングのプロ、ケリーをNASAに送り込む。彼女の手段を選ばない大胆不敵なPR戦略のおかげで、アポロ11号の月面着陸は世界中から注目される一大イベントに。そんな中、アメリカの威信がかかった月面着陸に決して失敗は許されないと、モーはケリーに対して、月面着陸のフェイク映像を撮影するよう極秘ミッションを命じる。一方、仲間の月面着陸成功を信じる真面目なNASAの発射責任者コールはこれに猛反対し、フェイク映像制作に邁進するケリーと激しく対立していくのだったが…。

【クレジット】

| | | |
|-------------|---------------|--------------------|
| 監督 | グレッグ・バーランティ | Greg Berlanti |
| 製作 | キーナン・フリン | Keenan Flynn |
| | サラ・シェクター | Sarah Schechter |
| | スカールレット・ヨハンソン | Scarlett Johansson |
| | ジョナサン・リア | Jonathan Lia |
| 製作総指揮 | ロバート・J・ドーマン | Robert J. Dohrmann |
| 原案 | ビル・キルスタイン | Bill Kirstein |
| | キーナン・フリン | Keenan Flynn |
| 脚本 | ローズ・ギルロイ | Rose Gilroy |
| 撮影 | ダリウス・ウォルスキー | Dariusz Wolski |
| プロダクションデザイン | シェイン・ヴァレンティノ | Shane Valentino |
| 衣装デザイン | メアリー・ゾフレス | Mary Zophres |

| | | | |
|---------|-----------------|----------------------|-----|
| 編集 | ハリー・ジーリアン | Harry Jierjian | |
| キャスティング | エレン・ルイス | Ellen Lewis | |
| 音楽 | ダニエル・ペンバートン | Daniel Pemberton | |
| 音楽監修 | シーズン・ケント | Season Kent | |
| 出演 | スカーレット・ヨハンソン | Scarlett Johansson | ケリー |
| | チャニング・テイタム | Channing Tatum | コール |
| | ウディ・ハレルソン | Woody Harrelson | モー |
| | ジム・ラッシュ | Jim Rash | |
| | アナ・ガルシア | Anna Garcia | |
| | ドナルド・エリース・ワトキンス | Donald Elise Watkins | |
| | ノア・ロビンズ | Noah Robbins | |
| | コリン・ウッドell | Colin Woodell | |
| | クリスチャン・ズバー | Christian Zuber | |
| | ニック・ディレンバーグ | Nick Dillenburg | |
| | レイ・ロマノ | Ray Romano | |